平成26年７月２７日

伊藤光汰

「第二回模擬国連鳥取大会」報告

以下のとおりご報告させて頂きます

記

・活動日時

平成２６年７月２０～２１日

・活動内容

ONYXIS主催での模擬国連鳥取大会による会議。議題は「死刑問題と国際司法共助」

・今回の目標

今回の活動は、ONYXISのメイン活動である模擬国連を26年度前期に第二回鳥取模擬国連として行うことにより、前回の第一回鳥取模擬国連よりもさらに質の高い会議を仕上げること、を1つ目の目標として掲げた。

そして2つ目の目標として前回の第一回鳥取模擬国連の参加者にとっては前回よりもう一段階上のレベルへの成長、そして今回が初の参加者には会議の経験を積んでもらい、ONYXISの団体としてのレベル向上を目指した。

・目標の達成度

　模擬国連とは、その会議の場での実際の活動も大事であるが会議に臨むまでのリサーチなどの取り組みも非常に重視される。その過程においてまずはフロント側の連携の悪さ、それにともなう会議までの段取りの悪さ、それに加え会議の前段階としてのONYXISのメンバーの活動の不参加、リサーチ不足があったため、一つ目の「第一回鳥取模擬国連よりもさらに質の高い会議を仕上げる」という目標は十分に達成されなかったように感じる。

　他方、実際の会議の場においてはまず前回会議より多くのメンバーが会議に参加できており、前回会議経験者の多くは前の経験を生かし、会議の流れ、構成を考えながら積極的に取り組めていた。また今回が初の参加になるメンバーについても手探りながらも懸命に取り組めており、中にはイニシアチブをとる者もあらわれ、二つめの目標としての「会議を通したONYXISの団体としての成長」は十分に達成されたであろう。

・まとめ

　今回の会議においてはまだまだ改善の余地があったであろう。このことから今回の会議の会議のフロント、そして参加者はこの会議での経験を次回の会議へと生かすことが強く望まれる。しかし、会議全体を振り返るとONYXISの各メンバーそれぞれの成長、そしてONYXISの団体の成長ができよい経験になったといえる。これからのONYXISの活動にもメンバー各々の活動に関してもさらなる向上が期待できるよい会議であったであろう。

・会議参加者

　清水滝介（Malaysia）、森田海（Uganda）、Lisa（Canada）、国重千香（Japan）、山根博瑛（アメリカ）、堺泰樹（イギリス）、ソ・ウォンジュン（韓国）、薛宇航（中国）、

岡本実華（会議監督）、伊藤光汰(議長)薛

以上